

2023 Japan National Team Report "選手"



報告者	所属クラブ：江ノ島ヨットクラブ 学年 中学2年生 氏名 中田 航誠		
大会名	THE 2023 OPTIMIST ASIAN & OCEANIAN CHAMPIONSHIP		
開催地	Abu Dhabi, UAE		
大会期間	October 29 - November 5		
セールNo	JPN 3446	最終順位	77位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような話述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOF艇を接見して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	気温は MAX 31度まで上がり、特に昼間はものすごく暑くなり、水の中の水もすごい速度であたたまりますので注意。また、僕たちが行ったのはケリラ豪雨の後というところでもすごく蒸し暑く、海もそんなに冷たくなくむしろ暖かいので海はジョーグド陸地は半そでと豆パンにハンディタンや熱さまシート等があるくらいかもしれない。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	海は、大きなうねりが入るわけではなく、少し波が入る時はほんのりとした大きなうねりが入ったのが基本はなかった。波は一日の流れが朝日乗来時に分かるような感じで、朝日ハーバーのスロープ正面からうねり、くさくさ吹いていたら、昼までその風で2か3レースくらいやって、12時にはなぐさつおわり、午後2-4時の間はその風がなくなり、10時すぎから11時くらいに入ってくる逆風のシーブリースでレースくらいという風に決まっていた。ハーバーにいた時に分かる感じだった。日が落ちる5時くらいまでやるので、夕方はまわります。日本とは違ってトップの人は水中の少し有利なポイントでスタートして、スタートを待つ人が走っていた。
セッティングで注意したこと	3rdギアは海流もあり、両ギアのシフトもあって最終日には波もあって、舟をよめておくと波や海流で止まったり、シフトに合わせるのが間に合わなくなってしまう。その後の走りが苦しくなるので、アウトボルトを暑段よりゆるくして、深いセイルを作りました。また、全日程そんなに風が熱かったので、レーキを前にかたむけて、カラムを少しゆるめにして、11時以降は人のカラムをぬいて、レーキを開かずに走らせるとセイル作りを楽にできてセッティングをしました。
セーリングで注意したこと	他の人達に巻き込まれるようにする。フックレースや、前半戦の時に、集団に囲まれて、その勢いにのまれてスタートがでず、その後いい展開にたてしまったから、後半戦の時はそれと対して上りきりや下りきり近しい所から意識的に考えてスタートするようにした所。
海上で練習したこと	すべり(スタート練習)、重た作 確認(タック、クロス、インボラ)、スタート練習、コース練習

